

中小企業イノベーション創出推進事業について

SBIR制度の抜本拡充

令和4年度補正予算額 2,060億円
(うち、国交省303.1億円)

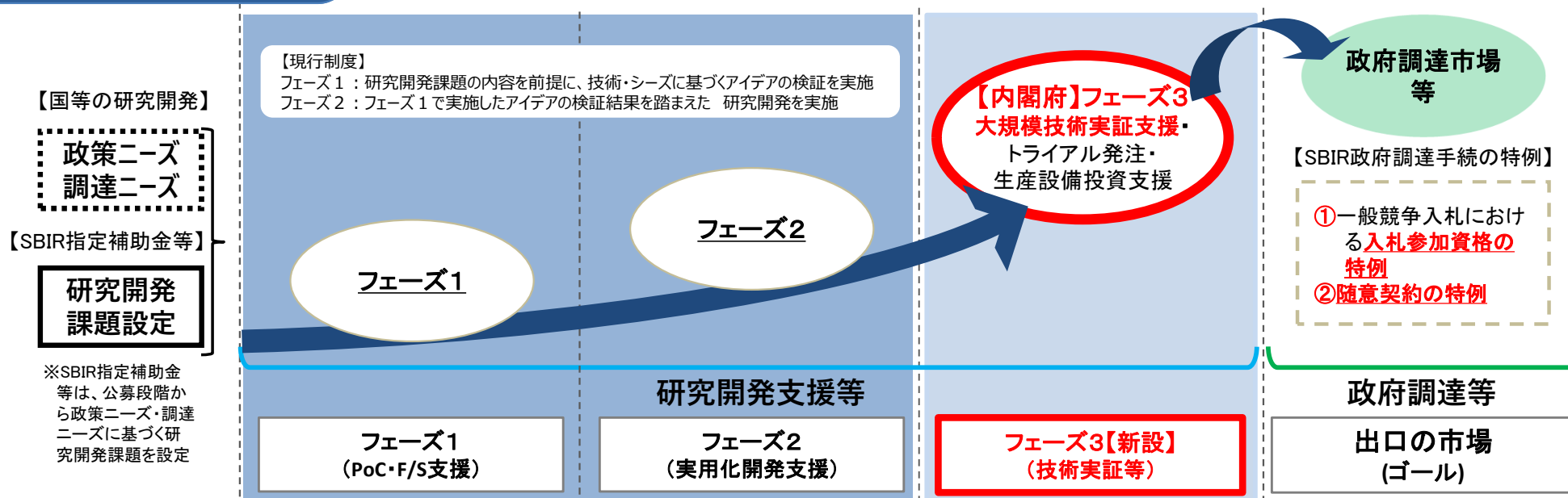
施策の目的

スタートアップを育成する際、公共調達を活用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度(Small/Startup Business Innovation Research)に基づく「指定補助金等」の対象・規模を抜本的に拡充。

施策の概要

ビジネスアイデアのFS調査段階(「フェーズ1」)、実用化に向けた研究開発段階(「フェーズ2」)の支援の拡充に加え、新たに先端技術分野における大規模技術開発・実証段階(「フェーズ3」)も支援対象に追加する。

施策の具体的内容



テーマ：空港業務の生産性向上に関する技術開発・実証

採択事業名：空港業務の人手不足の抜本的解決に向けた
アバターロボットの大規模実証

代表スタートアップ： avatarin(株)

◆ アバターロボットの技術を活用し、空港業務の遠隔旅客支援、複数空港での人材リソースシェアによる遠隔サポート等を行うことで、空港業務における省人化・効率化に資する成果を期待。

<プロジェクト概要>

・アバターロボット技術を用いた遠隔での旅客支援等に資する技術の開発として以下の3テーマを実施

1. アバターロボットを活用した遠隔顧客支援領域の大規模導入に関する実証
2. アバターロボットを活用した空港間のリソースシェアリングに関する実証
3. アバターロボット等の遠隔操作での業務を前提とした職場環境の最適化



アバターロボットを用いた遠隔サポートのイメージ

採択事業名：空間IDを活用した空港内情報集約基盤
「VIPS」の開発

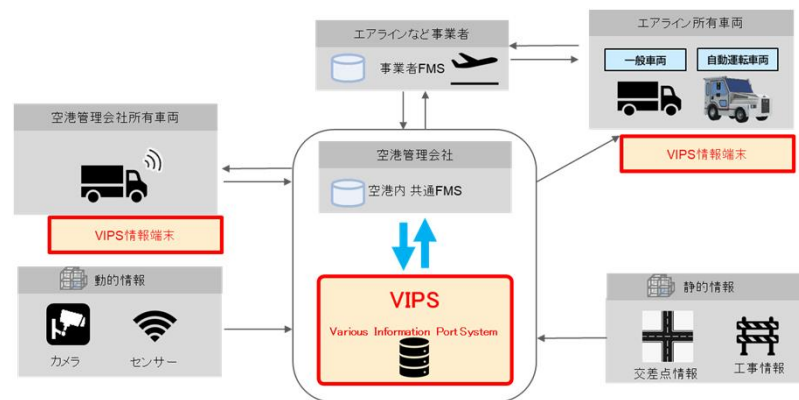
代表スタートアップ： ダイナミックマッププラットフォーム(株)

◆ 空港内の車両情報や工事情報等を集約し、空間情報として一元的に提供することで、自動運転モビリティの社会実装に寄与し、グランドハンドリング業務の省人化・効率化に資する成果を期待。

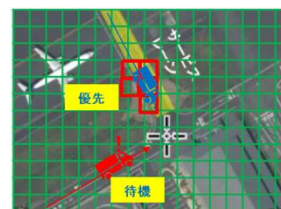
<プロジェクト概要>

・空港内で動く車両の混在交通環境への対応の困難性を解決するための手段の一つとして、空港内の様々な情報を集約する共通FMS（フリートマネジメントシステム）に接続可能な空間IDを活用した空間情報システム（VIPS）の開発を実施

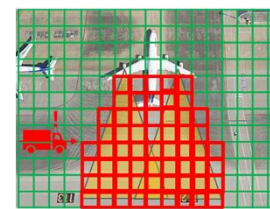
※VIPS：Various Information Port System



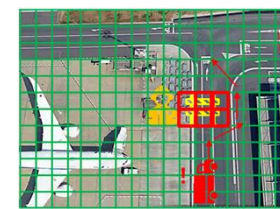
【空間情報イメージ】



サービスレーン通行車両情報



ブラスト領域情報



通行禁止情報